

1. 公園都市構想策定の背景と見直し

平成15年3月に旧酒田市が策定した「公園都市構想」は、多くの市民の「美しい街」、「きれいな街」、「快適な街」に住みたいという願いや、多様化した価値観、物質的な豊かさに加えて心の豊かさ、生き甲斐や生活の充足感、ゆとりや潤いを求める志向の高まりの中で、市民参加を主体としたまちづくりを進めるための一つの施策として策定しました。平成17年11月には市町合併があり、この取り組みは新市全体で行われています。

この公園都市構想は、まち全体を一つのすばらしい公園に例え、酒田市全体（空間）で「うるおいに満ちた公園都市づくり」を展開しようとするものであり、市民と行政が一体となった環境美化運動や美しい景観形成への取り組み、さらには資源循環型社会に対応したまちづくり、安全で安心なまちづくりを推進していくための構想と位置付けています。

全国的に人口減少社会が進む中で、コミュニティの崩壊等の様々な課題が発生し、市民と行政の協働が呼びかけられています。公園都市構想は、これらのことを背景に「市民参加を主体としたまちづくり」の視点のもと、活動の中から地域コミュニティの維持、形成が図られることも期待をしているものです。

この度、公園都市構想策定から5年目を迎え、緑化・美化ボランティア支援制度による美化サポーターの皆様には大変な活躍をしていただき、大きく前進したところですが、反面、市が担当する部分で進捗が見られなかった事業もあり、構想の全体について再度検討を加え、見直しを行ったものです。

活動前の新井田川の状況



当初の活動状況



《参考》

○緑化・美化ボランティア支援制度

道路、公園、河川等の公共施設における市民等のボランティアによる美化活動を支援し、環境美化に対する市民意識の高揚を図り、市民等との協働によるまちづくりを目的とする制度です。

○美化サポーター

緑化・美化ボランティア支援制度に登録し、道路等の一定の公共区域において、清掃や植栽等の美化活動を定期的実施する市民や企業をいいます。